

授業科目名： 英語科指導法	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 2単位	担当教員名：東田彰子 担当形態：単独
科 目	教科及び教科に関する指導法に関する科目(小学校)		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）		
授業の到達目標及びテーマ			
<p>小学校外国活動の基本理念を理解して、小学校で外国語を教える時に必要な、英語・外国語学習理論・指導法に関する知識を身につける。小学校英語指導の目標にそって、どのような内容を、どのような指導法や教材を使い進めるかを理解する。それに基づいて指導案を作成したりする中で英語の授業を展開できる指導技術を身につけることを目標とする。また、英語で授業することに自信を持ち、さまざまな英語活動を行えるようになることを目指す。</p>			
授業の概要			
<p>前半は関連法規や理論に関する講義を通信にて行う。小学校における英語活動のねらいを理解するとともに、その指導法を身につける。ビデオによる授業観察や指導案作成の技術を演習する。指導案作成後は面接授業の中で実際に児童の立場になって英語活動を受けたり、指導者の立場に立って模擬授業を行ったりすることを通して、相互評価を兼ね、お互い意見を交流しあったり討議するなど多く取り入れていく。</p>			
授業計画 第1回～第7回（通信）第8回～第15回（面接）			
<p>第1回：小学校英語教育の意義と目ざすもの①：文部科学省の小学校学習指導要領、関連諸法規、教育行政から学ぶ。 第2回：小学校英語教育の意義と目ざすもの②：公立小学校で行われている英語教育のカリキュラムや教材などを参考にしながら実際に小学校で行われている学習について学ぶ。 第3回：小学校における英語教育について：英語授業で使用される各教材を実際に用い、語彙や表現について研究する。 第4回：小学校と中学校の英語教育の連携について学ぶ。 第5回：クラスルームEnglishの活用 スモールトークについて学ぶ 楽しいゲームの紹介と運用の演習：実際にゲームと使った授業の展開を考え、模擬授業の準備をする。 第6回：日本と外国の文化や伝統のちがいについて学ぶ。外国の祝日や楽しい行事などを知り、授業に活用する方法を考える：ハロウィンやクリスマスにちなんだゲーム作りの模擬授業の準備をする。 第7回：指導案作成について研究する。模擬授業の準備：教材を決定し模擬授業の準備をする。 第8回：小学校における英語教育の実際：英語教育の研究授業の録画ビデオなどを見ながら、授業メモをとる演習をする。またどのような授業展開をするのが良いかディスカッションする。 第9回：模擬授業①とその後のディスカッションをする。 第10回：スモールトークの実際とスピーチ発表の演習：自己紹介カードを作成する。 第11回：発表：自己紹介カードを使って、自己紹介の後、スモールトークを行い、相互評価を行う。 第12回：模擬授業②：発表及び相互評価をする。 第13回：ALTや地域人材の先生との授業について研究する。簡単な指導案を作成する。 第14回：小学校における英語教育の考察：コミュニケーション能力向上のため学んだことをどう生かすかディスカッションする。 第15回：英語科指導法のまとめ：全講義を省みて振り返りのディスカッションを行う。その後レポートを作成し、提出する。</p>			
テキスト："Hi, Friends!"(1)(2) "We Can!"(1)(2) "Let's Try"(1)(2) 小学校学習指導要領 英語（文部科学省）			
参考書・参考資料等：「小学校外国語活動の進め方」岡秀夫・金森強（成美社）			
学生に対する評価 通信：レポート課題提出及び作品提出。面接：作品提出、スモールトーク、発表、レポート			

